

すべては健康管理から
～定年4年前教育～

自衛隊札幌地方協力本部札幌駐屯地援護センターは、令和5年9月26日（火）に札幌駐屯地において、令和9年度に定年退職を予定している隊員17名に対し、定年4年前教育を行いました。

本教育は、定年4年前の若年定年退職予定隊員に対して、再就職への意識付けを図ることを目的としています。

はじめに、佐々木センター長による最新の雇用情勢、退職までのスケジュール説明を教育し、次いで部外講師による個人型確定拠出年金（i D e c o）を活用した資産準備、防衛省生活協同組合の概要、業務隊衛生科による生活習慣病を強調した健康管理と管理栄養士による栄養管理を教育し、最後に業務隊厚生科による公的年金制度について教育を行いました。

教育終了にあたり、センター長が「すべては健康管理から始まる。残り4年間を有効に活用し、退職まで実施できる諸準備を計画的に行い、再就職への意識を高めることが重要」と述べ、隊員は、「退職までのタイムスケジュールや再就職に有効な資格が確認できたのでしっかりと準備したい」、「健康管理を見直し再就職に準備したい」と応じました。

自衛隊札幌地方協力本部は、隊員が再就職準備を不安なく進められるよう部隊と連携を図りつつ親身な就職の援助を行っていきます。



センター長(佐々木2陸尉)による
タイムスケジュールの説明



循環器等疾患発生リスクを
計算する参加者(健康管理教育)